

いたずらこねこ

バーナディン・クック 文

レミイ・シャーリップ 絵

まさきるりこ 訳

福音館書店 1964年 1000円



かめといたずらなこねこが、ある日庭で出会います。こねこは生まれて初めてかめを見て、好奇心いっぱいにかめをポンと叩くと、かめは頭や足をを引っ込めます。それを見てこねこはびっくりして…。こねこのとまどう様子が、絵と文で細やかに描かれています。場面はかわらず、かめとこねこの動きのみで話が進みます。白地に黒の鉛筆画で、池だけに緑色が効果的に使われています。

おおかみと七ひきのこやぎ—グリム童話—

フェリクス・ホフマン 絵

せたていじ 訳

福音館書店 1967年 1300円

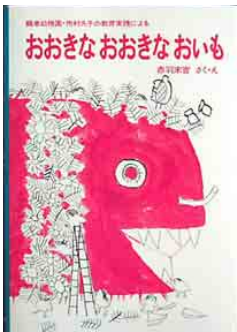


おかあさんやぎの留守中、7匹のこやぎたちのところへおおかみがやってきます。はじめは戸を開けなかったこやぎたちも、おかあさんに化けたおおかみにだまされて戸を開け、1匹を残し丸のみされてしまいます。帰ってきたおかあさんやぎは、末のこやぎから話を聞いて…。おなじみのグリムの話にホフマンが絵をつけました。格調高い絵と文章で、長年愛されてきた絵本です。

おおきなおおきなおいも

赤羽末吉 作・絵

福音館書店 1972年 1100円



あおぞら幼稚園のいもほり遠足が、雨で延期になりました。「大きくなって待っててくれる」と先生に言われ、子どもたちはおいもの絵をかきはじめます。かいていくうちに、おいもはどんどん大きくなり、子どもたちの想像も広がっていきます。子どもたちの姿やおいもが、黒の線と赤紫の色だけで、ユーモラスに楽しく描かれています。